

爲し得る限り我基地に近接せしめたる後兩軍航空全兵力を投入して晝夜に亘り果敢執拗なる攻撃を反覆し敵空母及輸送船團を併せ撃滅するを本則とす

一三九

第七節 第六方面軍新設に關する経緯

一 湘桂作戰完遂に關する中央の態度

ノサイバン失陥以來東京より來寧せる大本營作戰關係者は湘桂作戰完遂に關する大本營の企圖には變化なきことを言明せるも作戰關係者以外の者の中には大本營に於ては湘桂作戰は粵漢打通を以て終了せしめ後段作戰は素より桂林、柳州攻略をも中止せしむる如く研究中なりと連絡する者尠からざりしを以て中央に於ては多少なりとも本件問題化しつつあるものと推察せしも派遣軍としては帝國全般作戰の狀況を考察するも粵漢打通のみならず桂林、柳州攻略は絶対に必要なりとの意見を堅持せり

0916

2 七月下旬天野參謀總長作戰準備に關する大陸命受領の爲上京せし

際湘桂作戰に關し大本營より左の如く連絡せられたり

イ 湘桂作戰は成るべく本年未迄に全部終了し且爲し得る限り西南

支那方面に於ける戰略態勢を強化せられ度又佛印方面との鐵道

打通は困難なるべきも本土と南方軍との海上交通は益々不安と

なれるを以て大陸交通に依り精神的連絡を保持し度

尙北緬は大本營、南方軍共に萬難を排し確保するに努む

ロ 全般情勢の進展に伴ひ派遣軍の業務益々繁多を加へ湘桂作戰指導

に専念し得ざるべきを以て新に湘桂作戰方面に方面軍を新設す

ることに関し研究中なり

ハ 挺進團を派遣軍に増加することに関しても研究中なり

ニ 湘桂作戰を本年中に完遂し得るや否や又之が爲の増加希望兵力

に關し研究せられ度

ホ ソ聯參戰し派遣軍より十箇師團又は二十箇師團の抽出を必要と

一三一  
する場合に於ける抽出時機及爾後の確保地域等に關し逐次研究を進められ度

二、方面軍新設等に關する上申

ノ茲に於て湘桂作戰を既定の規模通り而も成るべく速に完遂せしめ度大本營の意圖明瞭となりしを以て先般來研究中なりし湘桂作戰修正計畫案を概ね左の如く策定せり而して從來の經驗に鑑み最も留意せしは作戰と後方との節調なり

湘桂作戰修正計畫案要旨

(一) 衡陽攻略

第十一軍は八月上旬中に衡陽を攻略し爾後同地附近の要域を確保して速に後方を推進し九月中旬頃迄に前段第二期作戰の準備を完了す

(二) 方面軍の新設

概ね八月末迄にX方面軍司令部を新設し第十一軍、第二十三軍

0918

及第三十四軍を統率し湘桂作戰の完遂に任せしむ但し第二十三軍は梧州附近攻略時迄は派遣軍直轄とし方面軍は第十一軍後方地域を方面軍直轄となし第十一軍をして進攻作戰に専念せしむ

(三) 前段第二期作戰

(1) 第二十三軍は九月上旬頃西江兩岸地區より攻勢を開始し速に梧州、丹竹附近を攻略したる後概ね十月下旬頃迄に柳州方面に對する爾後の攻勢を準備す

(2) X方面軍は第十一軍をして九月下旬頃衡陽南方地區より攻勢を開始せしめ益縣附近を攻略したる後概ね十月下旬頃迄に桂林方面に對する爾後の攻勢を準備せしむ

(3) X方面軍は概ね十一月上旬頃第十一軍及第二十三軍をして求心的に攻勢を開始せしめ敵第四戰區軍及蟬集を豫期する敵軍主力を捕捉撃滅すると共に桂林及柳州附近を攻略せしむ此の

際柳州は第二十三軍をして攻略せしむる如く指導す

(4) 爾後×方面軍は第二十三軍司令部及有力なる一部を廣東方面に反轉せしむると共に第十一軍をして湘桂沿線要城を確保し蝟集反攻を豫期する敵軍を殲滅せしむ

(5) 本期作戰は概ね十一月末終了するものと豫定す

(四) 前段第三期作戰

(1) ×方面軍は衡陽附近に配置せる方面軍直轄兵團及新に同方面に増加せらるる兵團並に廣東北方に在る第二十三軍一部をして第二期作戰間に第三期作戰準備を完了せしむ

(2) ×方面軍は十二月中旬頃約三ヶ師團兼轄の兵力を以て衡陽南方及東方地區より攻勢を開始し韶關附近以北の粵漢鐵道を成るべく無庇占領するに努むると共に遂川及南雄附近を攻略す

(3) ×方面軍は第二十三軍一部をして右作戰に策應し概ね英德附近以南の粵漢鐵道を成るべく無庇占領するに努めしむ

(4) 本期作戦は概ね一月上旬迄に終了するものと豫定し爾後約三ヶ師團基幹の兵力を以て南部粵漢沿線の要域並に衡陽東方及韶關より夫々遂川及南雄附近に至る間の要域を確保す

(五) 後段作戦

(1) X方面軍は第十一軍をして前段並に作戦終了後後段作戦を準備せしむ

(2) X方面軍は概ね一月末頃第十一軍をして南寧攻略及佛印國境への連絡路打通作戦を實施せしむる豫定なるも細部に關しては當時の情勢に基き之を定む

(六) 大本營に對する希望事項

前段第三期作戦完遂迄の所要兵力として速に左の如く増強を希望す

X方面軍司令部

八月末新設

師 團 二箇

戦闘部隊 二箇

防空部隊

(細部省略)

速に増加

後方關係部隊

(細部省略)

2 八月七日關係參謀を上京せしめ前號修正計畫案に基き湘桂作戰爾後の見透等に関し報告すると共に方面軍新設等に関し大本營に要請せしめたる處大本營の回答要旨左の如し

(一) 修正計畫案に就て

- (1) 第二期作戰に關しては異存なきも作戰目的、全般戰局、北編戰局及敵空輸能力等に鑑み後方との節調を失せざる限り極力作戰期間を短縮するに努められ度
- (2) 第三期作戰の爲二ヶ師團を増加する件は研究中なるも目下の所豫定し難きに付作戰開始時機遅延するも止むを得ず
- (3) 後段作戰の時機は第三期作戰と關聯し後日改めて連絡す

(一) 方面軍司令部新設に就て

成るべく速に方面軍司令部を増加することに決定しあるも之が編成方法（新設、轉用又は第十一軍司令部の昇格）に關し研究中なり

(二) 航空兵力の増強に就て

湘桂作戦協力及奥地航空進攻の爲約一ヶ月間の豫定を以て戦團二戦隊（最新四式戦）、重爆一戦隊を増加する如く研究中なるに付増加せる場合には極力集結して自主的に使用せられ度

(三) 其他の兵力増強に就て

(1) 防空部隊 本土防空との關係もあり増強困難

(2) 兵站部隊 概ね希望通滿洲より轉用す

又八月十六日天野參謀を第十一軍に派遣し其意見を徵せしめたるに派遣軍の方面軍新設案に同意せしを以て直に大本營に對し方面軍司令部新設方要請せり



尙第十一軍としては當初軍に對する不信任の爲方面軍團生起せしものと考へ且第十一軍司令部を昇格せしめられ度との態度なりしも正式には方面軍司令部新設意見を表明せしものなり但し方面軍は後方關係の指導に重點を置くものとして作戰上に於ては第十一軍を過度に制肘せざる件並に高貴高級參謀健康を害しあるに付克く全參謀の能力を發揮せしめ特に後方と作戰との節調宜しきを得る後任者をして交代せしめられ度希望を開陳せり

### 三 第六方面軍新設

八月二十<sup>六</sup>日第六方面軍司令部の新設及人事に關し發令せられしが最高陣營は武漢周邊の進攻作戰時代に於ける第十一軍司令部首腦者を以て編成せられ下部組織は總司令部並に第十一、第二十三軍司令部より精銳を集成することゝせるを以て豫期以上精強なる方面軍司令部を新設し得るに至れり

2 九月十日第六方面軍司令部の編成完結し第六方面軍（第十一軍、

第二十三軍、第三十四軍及長沙、衡陽地區直轄兵團より成る但し第二十三軍は當分の間派遣軍直轄とす一の統帥を發動することゝなり總司令官は左の如く訓示せり

總司令官訓示

皇國今や正に興廢の關頭に立ち派遣軍の責務亦益々重要且複雑多岐を加ふるの秋茲に精強無比なる第六方面軍司令部を編成せられ予の熱下に入らしめらる實に一號作戰の完遂に將又全般任務の達成に一  
大新銳威力を加へたるものにして衷心より欣快に堪へざるところなり  
抑々一號作戰は大本營の企圖に基き在支敵空軍主要基地を覆滅して帝國本土空襲並に海上交通破壞等の敵企圖を粉碎する目的を以て派遣軍の總力を結集して本年晚春開始せられ既に京漢作戰及湘桂第一期作戰に於ては御稜威の下各軍の雄渾卓拔なる統帥指揮と第一線將

兵の決死敢闘とに依り其の目的を達成せりと雖も在支敵空軍の増勢急激を加へ我が航空部隊の異常なる努力にも拘らず彼我航空戦力上大なる懸隔の存するところ今や戦場就中後方補給線上に於ける敵空軍の跳梁激烈を極め苛烈なる現代戦の様相を遺憾なく露呈するに至り作戦の前途眞に樂觀を許さざるものあり

一方太平洋並に北緬の戦況愈々急を告ぐるあり派遣軍の自戦自強克く至短期間に作戦目的を完遂するは帝國戦争指導上喫緊の要請にして予は第六方面軍向後の健闘を切に期待して止まざるものなり  
宜しく方面軍司令官以下堅鋼の團結を保持し烈々たる必勝の信念の下萬難を克服排除し第五航空軍との連繫を密にし特に戦場の實相、部隊の真相を的確に把握し作戦速度と航空の進出並に補給の確保との節調宜しきを制し以て努めて速かに一號作戦を完遂し上聖旨に應へ奉り下全軍の期待に副はんことを期すべし